

2010年6月19日 地域自然情報研究会

6月19日(日)14:00-15:30

会場:環境情報学習センター(エコギャラリー新宿)

## 鳥取県若桜町諸鹿における山林利用の歴史と植生景観の変遷

株式会社 愛植物設計事務所 伊藤 麻子

山地の奥にある集落は、他の社会からは地理的に孤立していた。その住民にとって、山林はまさに命の源であり、独自の山林利用が繰り広げられてきた。だが生活の変化により、長い間自然と人の生業が作り上げてきた景観はかなり失われてしまった。

本研究では、時系列的な空中写真や森林簿、旧土地台帳、聞き取り調査等により、約100年間の山村集落の土地利用の変遷を空間的に復元することを試みた。そして、民俗的要素や歴史地理的要素を組み合わせ、山村集落の人々の空間認識の変化についても解析を行った。

調査の対象地は、鳥取県若桜町諸鹿集落であり、山奥の孤立集落である。集落の起源は、戦いに敗れた平家の落人がすみついたといわれる。また、それ以前から木地師達が暮らしていた。